

2024年度 株主・投資家との対話の実施状況

株主との建設的な対話に関する方針

- ・ 当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資するよう、株主との建設的な対話を推進する
- ・ 株主の意見・懸念や要望は経営陣と共有し、適切に会社の運営に活かす

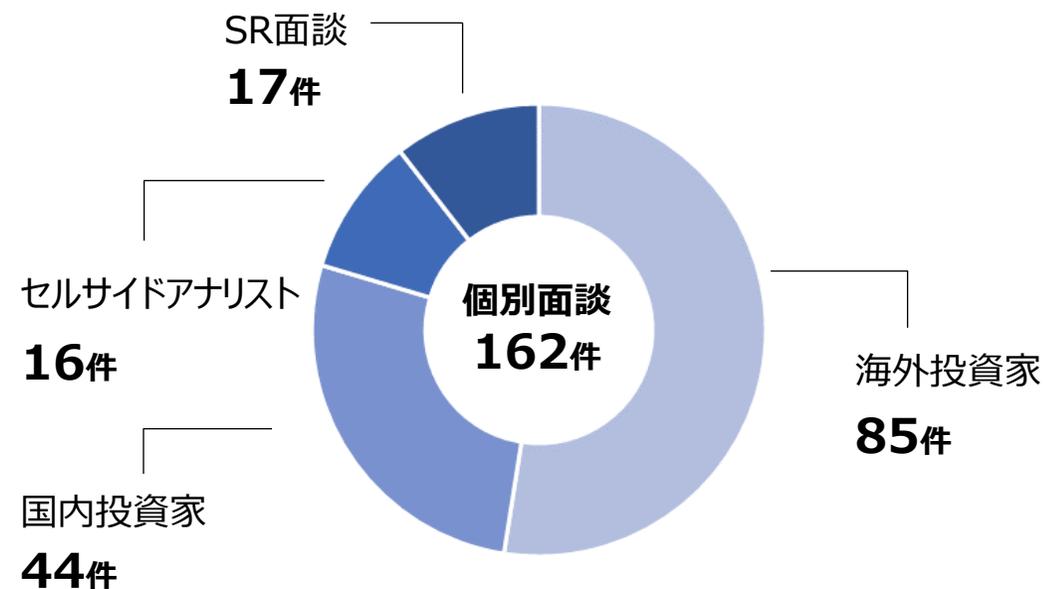
当社「コーポレートガバナンスに関する方針」より抜粋

IR活動の主な対応者と実施状況

主な対応者：
社長、副社長、CFO、経営戦略部門長、総務法務部門長、IR担当部門、
社外取締役

決算説明会	4回	2Q、4Qは社長が登壇
スモールミーティング	4回	社長スモールミーティング 2回 社外取締役スモールミーティング 1回 コーポレートコミュニケーション部長スモールミーティング 1回
個別面談	162件	内、マネジメントによる対応 36件
個人投資家向け説明	IR情報誌やビジネス誌への社長インタビュー記事の出稿、 会社紹介動画や社長インタビュー動画のウェブサイト掲載	

対話を行った株主・投資家の概要



対話の主なテーマと経営陣や取締役会に対するフィードバック状況

● 経営陣や取締役会に対するフィードバック状況

- 株主・投資家との対話内容を取締役会へ報告（年2回）
- マネジメントに対し、株主・投資家との対話内容を報告（毎月）

● 対話の主なテーマと対話を踏まえて取り入れた事項の例

対話の主なテーマや関心事項	対話を踏まえて取り入れた事項の例
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業ポートフォリオ変革の進捗 <ul style="list-style-type: none"> ✓ カラー & ディスプレイの業績改善見通し ✓ これからの成長事業の明確化 ● 東証の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」への取り組み ● セグメント別ROICの開示 ● 美術館運営見直しの進捗 ● 資本政策に関する説明の充実 ● 株主・投資家との更なる対話の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外顔料事業の構造改革の進捗とカラー & ディスプレイの2026年度までの業績見通しを開示 ● 成長ドライバーとなるケミトロニクス事業本部の業績を開示 ● ROEやROICの目標値と改善に向けた方針を開示 ● セグメント別ROICを開示 ● 美術館運営見直しの進捗を適時に開示 ● キャッシュアロケーション方針の丁寧な説明 ● 取締役によるSR面談を実施し、市場とのコミュニケーションを強化 ● 株主（機関投資家）と社外取締役のスモールミーティングを開催 